



新しいユニホームを披露するアルティスタ浅間の選手ら

アルティスタ浅間 初戦へ意気込み

佐久で新体制発表

サッカー北信越リーグ1部「アルティスタ浅間」はこのほど、「アルティスタ東御」から改称したチームの新体制発表会を佐久市のイオンモール佐久平で開いた。サポーターの前で新ユニホームを披露したほか、新加入の選手を紹介。日本フットボールリーグ(JFL)への昇格を目標に掲げており、8日の今季初戦に向け、監督や選手が

意気込みを語った。

主にホーム戦で着用するユニホームは赤を基調とし、ゴールキーパーは水色。主にアウェー戦はそれぞれ白と黄色。胸や肩などに東信地方のスポンサー企業のロゴをあしらったデザインだ。

新体制は新加入の16人を含む27人。選手4人をプロ契約で迎えた。J3のAC長野パルセイロから移籍し、今季主将を務めるゴールキーパー武田大選手

(28)は「キーパーとして体は大きくないが、頭を使ったプレーでチームをサポートする」と話した。

小林慎二監督は「チームの約3分の2が入れ替わり、一からのスタート。選手個々の力は昨年より上なので、どう生かしていくかが課題」と話していた。

8日の初戦は佐久市の佐久総合運動公園陸上競技場で午前11時にキックオフ。対戦相手は富山新庄クラブ(富山市)。